

# 令和2年度野田村支援交流活動 追悼行事

令和3年3月11日(木)、令和2年度野田村支援交流活動(追悼行事)のパブリックビューイングを開催しました。

今年度の野田村支援交流活動(追悼行事)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地へは教員と学生のみが参加し、追悼行事と野田村の復興状況のレポートが行われました。パブリックビューイングの会場は弘前市の他、大阪大学にも設けられ合わせて約35名の参加がありました。

本事業の前半は、震災の記憶、経験や教訓を忘れず後世に伝承するために設置された野田村保健センターの復興展示室から中継を行い、震災直後の状況や現在の状況について現地野田村のスタッフから解説が行われ、当時の状況について参加学生と質疑応答などがされました。また、追悼式会場であるほたてん

ぼうだいへの移動中には、現在の野田村の様子をバス内から中継しました。

事業の後半は、てんぼうだいに設置された大津波記念碑の前で東日本大震災追悼行事が行われ、地震発生時刻の14時26分にサイレンが鳴り、黙とうが行われました。

参加者からは、「コロナで野田村へ行くことはできなかったが、リモートで野田村の様子が見られてよかった」「早く野田村に行きたい」などの感想が寄せられました。

本センターでは、震災の記憶を風化させず、野田村との交流を活発にするために、今後も野田村支援交流活動を継続して実施する予定です。



学生による中継の様子



パブリックビューイング会場(弘前)